

平成28年度一般会計予算
377億9千万円

■予算規模の推移

年度	歳出予算額（全体）		
	通常分	除染関係分	
平成24年度	263億1千万円	260億4千万円	2億7千万円
平成25年度	366億1千万円	292億1千万円	74億0千万円
平成26年度	440億3千万円	311億7千万円	128億6千万円
平成27年度	455億6千万円	329億6千万円	126億0千万円
平成28年度	377億9千万円	297億2千万円	80億7千万円

主な最重点推進事業

人口減少を抑制し、将来にわたり持続可能な地域社会を維持していくため、本市の地方版総合戦略として平成27年10月に策定した「白河市みらい創造総合戦略」に基づく事業に重点的に配分しています。

安定した雇用をつくる

ふるさとビジネス応援事業	2,010万円
若者定着産業力強化事業	1,170万円
がんばる新規就農者支援事業	750万円

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

児童クラブ施設整備事業	1億4,500万円
多子世帯保育料軽減事業	5,300万円
白河っ子応援事業	730万円

新しいひとの流れをつくる

南湖公園史跡整備事業	1億5,150万円
周遊型観光推進事業	1,610万円
地域おこし協力隊活用事業	940万円

■公営企業会計

会計	予算額	対前年度比 %
水道事業（※）	22億1,944万9千円	43.6
工業用水道事業	1億23万3千円	△4.1
合計	23億1,968万2千円	40.6

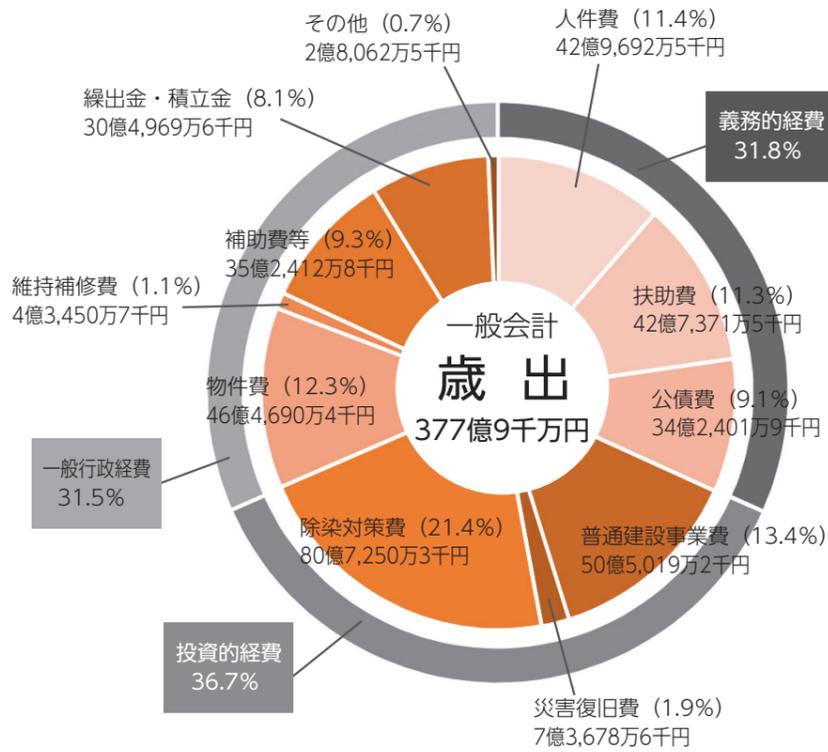
※平成28年度から水道事業に簡易水道事業を統合しています。

財政状況および財政計画の概要は、市ホームページで公表しています。

☎本庁舎財政課 内 2334



一般会計予算の概要
今年度の一般会計予算の総額は、377億9千万円となりました。大型事業である白河文化交流館「コミネス」建設事業や除染対策事業などが進捗したことで、前年度予算を77億7千万円（17.1%）下回りましたが、人口減少など喫緊の課題に着実な施策を講じるため、実効性の高い予算としました。



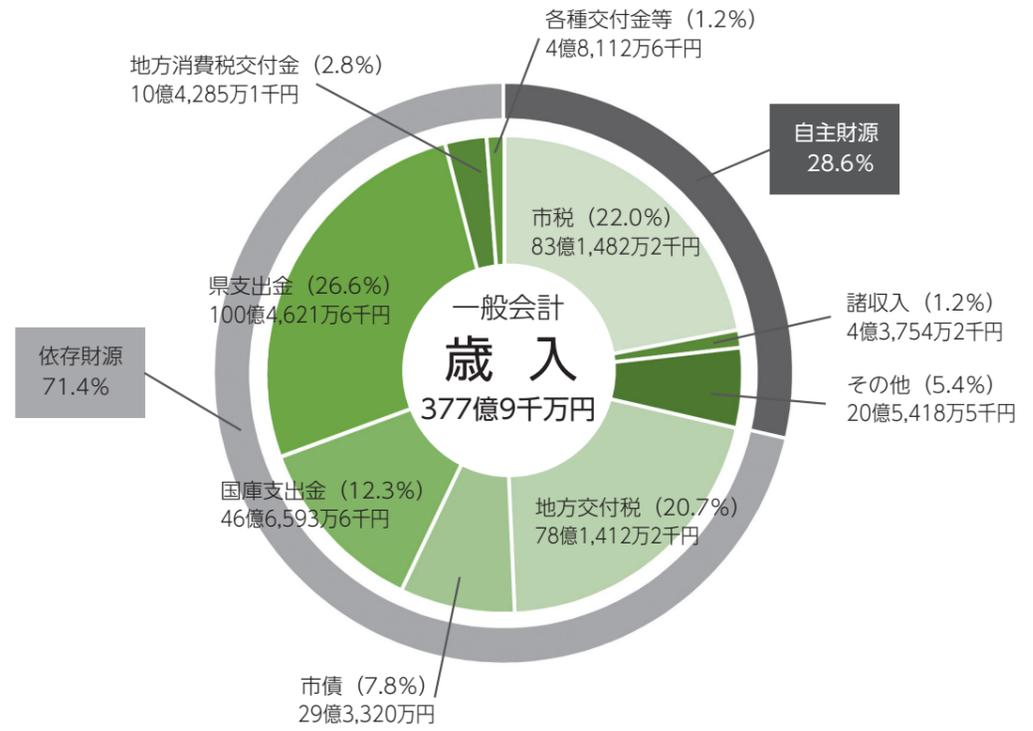
■特別会計

会計名	予算額	対前年度比 %
国有林野払受費	18万5千円	0.0
教育財産	61万5千円	8.3
小田川財産区	78万0千円	△4.3
大屋財産区	25万0千円	66.7
樋ヶ沢財産区	801万4千円	2562.5
土地造成事業	4,997万6千円	5.3
国民健康保険	75億1,315万9千円	△3.1
後期高齢者医療	5億8,840万2千円	2.5
介護保険	53億5,865万1千円	3.8
地方卸売市場	1,951万3千円	△25.8
公共下水道事業	20億7,500万5千円	0.8
農業集落排水事業	8億2,634万0千円	0.4
個別排水処理事業	8,923万7千円	△17.7
簡易水道事業（※）	0千円	△100.0
合計	165億3,012万7千円	△2.6

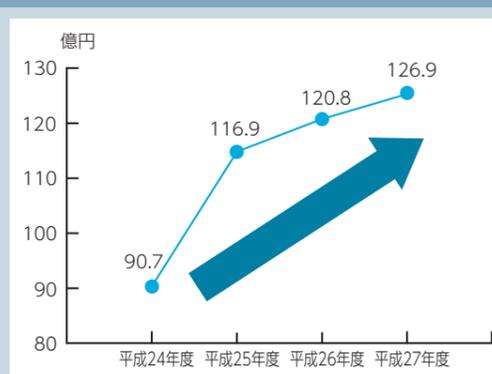
平成28年度予算の特徴

合併から10年、震災・原発事故から5年が経過し、本市発展の新たなステージを迎えた今、足元の資源をもつ一度見つめなおし、様々な施策を全力で実行していくため、「安定した雇用をつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「新しいひとの流れをつくる」を3本の柱として重点的に予算を配分しました。

市では、毎年6月と12月に財政状況をお知らせしています。今月号では、平成28年度当初予算、市債・企業債および基金の状況などをお知らせします。

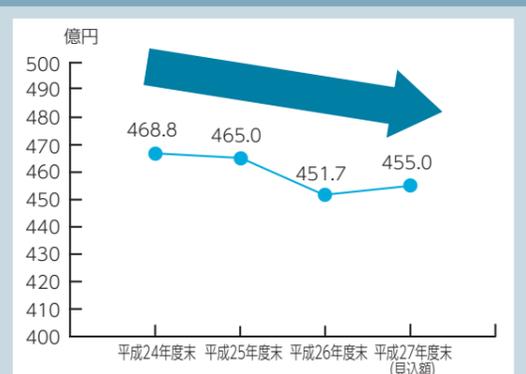


基金の状況



市の「貯金」に当たる基金は、住民福祉の向上や教育・文化の振興など、目的に応じて有効に活用しながら、将来の健全な財政運営のため、着実に積み立てを行っています。

市債・企業債の状況



市の「借入金」に当たる市債（臨時財政対策債を除く）・企業債は、計画的に借入と返済を行うことで、減少傾向にあります。

平成28年度当初予算